

2006.10.1発行 不老川流域川づくり市民の会 代表 相馬和彦  
 連絡先 04-2965-1741 <http://furougawa.mods.jp/>



新河岸川合流付近 魚はいるかな

### 川は誰のもの？

不老川流域のこの地に転居して、いつの間にか20年たった。東京の下町隅田川のほとりに生まれ、祖父や父も川と言えば大川＝隅田川を指した。水が底まで透き通っていてきれいだったねえ。白魚が泳いでいて、大橋のもとにあった水練上で泳ぎを教えてもらったんだよ。

私の思い出はカミソリ堤防の内側にへばりついてザリガニ取りをしたこと。年々汚くなる川に、ある年以降大橋から飛び込む寒中水泳が中止されたこと。今から40年以上前のことだ。

不老川の水は新河岸川に集まり、隅田川を東京湾に注ぎ込む。未だ親族や友人がたくさん暮らしている下町や、かつて訪ねた船橋の三番瀬で漁業を続ける漁師さんの顔が目に浮かぶ。

上流の水が下流の人々の暮らしや生き方に大きな影響を与えるのは当然として、目の前の川の在り様が、海から遡る魚や川辺を伝ってやってくる鳥や昆虫を運び、あるいは妨げもっと上流までの暮らしや子どもたちに影響を与える。

大きな水循環の中で、川は皆のものであると同時に、世代から世代へと引き継いでいくべき責任を伴うものとして、深く自覚していかなければならないだろう。 (丸橋)



H. T.

### マルバルコウノウ

熱帯アメリカ原産  
 可憐な赤い花が土手の柵で目を惹く。ここ1,2年で不老川でも急に増えているツル性外来種



# 不老川工事の進行状況

平成10年から始まった不老川の河川工事は平成15年度までの6年間でようやく1,150m行われただけだったが、平成16年4月に床上浸水対策河川事業として実施されるようになり、一気に進むことになった。以下に話し合い結果等もいれて説明します。

**平成16年度工事** 久保川合流点付近から700mで、川越市道に架かる橋を残して完成した。

**平成17年度工事** 今福堀合流点付近から山田橋まで1,600m区間であるが、実際は約1,800m実施された。しかしその間の橋の架け替えはまだである。

その中には砂久保橋(川越市砂久保)がありその袂には大工ノキがある。この工事で伐採されると聞き、景観上、又、色々な意味で重要な樹木であると考え、その保存を要望してきた。そこで、当会として具体的に提案しようということになり、「砂久保橋橋畔樹保全に関する提案書」を作成し、去る8月25日、川越県土事務所との会議で検討し提出した。(詳細は当会HPに掲載)

**平成18年度工事** 山田橋合流点から石橋下流付近まで1,300m区間であり、平成17年6月に設計案の提示があり、7月に当会として改善提案をした。10月に提案を受け入れて大幅に改善されたが、橋の架替えが、地権者との合意がないとのことで、最終

結論には至っていない。旧河川の活用方法と河川敷の広い部分の扱い方法等の課題が残っている。

**平成19年度工事** 草刈橋付近から権現橋付近までの1,600m区間で、平成17年12月に設計案の提示があり、当会として改善提案をした。平成18年4月に一部改正の説明があったが、変更した図面の提示はまだで、いくつかの課題が残っている。

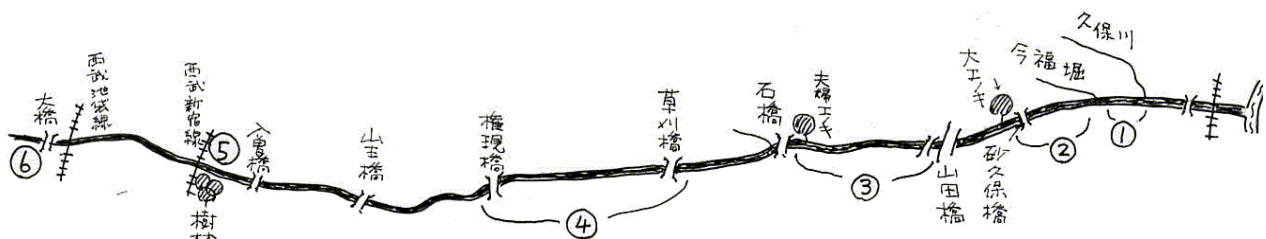
<平成19年度以降の工事>

## 西武新宿線橋梁架替事業

平成18年7月に、上り線の橋脚拡幅工事とその付帯工事の説明があった。当会としては橋の上流部の浸水被害の防止が目的であることから、拡幅工事は了承したが、付帯工事による下流右岸の林の伐採については絶滅危惧種も自生していることから保全を要請した。埼玉県として事前の植生調査は行ってないとの説明で再検討を約したが、回答はまだである。又、同林は不老川清流ルネッサンス計画に親水施設設置候補地例と記載され環境保護上重要な場所としている所である。

## 大橋(入間市下藤沢、国道463)架替工事

橋の上流部の浸水被害軽減のための工事であるが、いまだ設計図の提示がない。(相馬)



## 川歩き

7月6日、曇りの中不老川に沿って歩き出す。ニリンソウの宝庫、今はすっかり笹に覆われてしまった。沢山あったカラスムギはどこも枯れていた。自然の姿らしい。川の流れはなんのもゆるやかで穏やかで、気持ちがゆったりする。

カモの群れが川の中央、草の上でゆっくり休んでいた。が、水の異臭は今も変わらない。ヤブカンゾウ、ノカンゾウがいま真っ盛り。

9月7日、まだ夏の名残り、草ボウボウの所、歩きやすい所様々だが、かわいい野草、花が息づいている。でもアレチウリはこの辺りでもはびこっていた。

七曲の井、改修工事もすっかり終わり、きれいになっていたが、少し狭くなったかしら。(杉山千)



ヤブカンゾウが土手をオレンジに彩っていた。ヒメジョオンの白との対比がいい感じ。

## 第7回 大森の池まつり 約500名参加 8月20日(日)はれ 入間市宮寺大森調節池

魚になった！こどもよりもこどもになったお父さん&お母さん？！  
今年は、子どもたちが親をリードしながら遊んでいたように感じた。



魚よりも人・人が多い



手作りの水鉄砲 100本用意したのに  
あっという間にオシマイ。



毎年行列が出来る人気のカヌーのり



泥んこ遊び？EM どん団子づくり 今年初登場  
大小さまざまな団子を作り持ち帰りました。

### 福原中学校家庭教育学級「環境講座」

9月9日(土) 於川越市福原公民館(参加者 25名)  
**不老川を知っていますか**

今回の講座は、地域の人たちにも開かれた公開講座でしたので、PTAの会員の他に地元の方の参加があり、興味深い話を聞くことが出来ました。まず、マップを手に不老川に足をのばし、エースコック工場近辺の改修された川の様子と、その上流のまだ手つかずの川の姿を見ました。

その後、当会で編集した「不老川へようこそ」を上映し、話し合いをしました。

地元の方以外の参加者は、若く、川にはあまり関心のない人たちがほとんどでしたが、砂久保橋の供養塔を移転することで川越に災難が起ころなければいいかという発言が印象的でした。工場廃水、調節池、調整池、問題がある時どこへ訴えたらよいのかなど下流地域ならではの話になりました。

川には土地にあった種類の木が欲しいこと、魚を放流すればいいというものではないこと等を話しましたが、不老川を通して自然環境を考えてもらえたでしょうか。(村手 記)

### 山王塚緑地 笹竹とのせめぎあい

真夏の暑さの中、植物は青々と元気に天に向かって誇らしげに伸びている。訪れる人にとっても心癒される場になっていることでしょう。冬の間、笹竹を根から刈り取った所は一面に下草が生えそろうている。大きな木は木陰をつくり、その下はあたたかも緑のじゅうたんを敷きつめたように美しい。手入れの出来なかった場所との差が歴然としている。この生態系豊かな自然を保全するには笹竹とのせめぎあいが重要な課題になると感じた。

—— 思わぬことが ——

小学生の登下校の安全を守るため、道路から見通しの良いようにしてほしいと要望がよせられた。生命の大切さを考え、出来る限りの対応はしたが、人間の都合で、物言わぬもう一方のいのち(植物たち)を刈り取ることになってしまった。

“自然との共生”と

言いながらも・・・

(小川照)



「緑が一杯で良い所だな」と思ったら「これはゴミの山です」という。そう言われれば生えている木は殆ど成長の早いニセアカシヤ。ニセアカシヤは10年も経てば立派な成木だ。早稲田大学所沢キャンパスの裏の「和幸の森」で、大学の太田先生からそういう説明を聞かされた。大学の食堂建設時には洗濯機や冷蔵庫がゴロゴロ出てきたそうだ。今も近くで処理業者によってゴミが捨てられている。これが狭山丘陵の現実の一面の姿であった。

「ここは本当に心の和む所だな」雑魚入り樹林地に入ると、誰しもがそう言って汗を拭う。相続税対策として売り出されあわや墓地に変貌する寸前の山林を守ろうと立ち上がった市民の熱意がトロ1号地

を誕生させ、更に埼玉県と所沢市を動かして、雑魚入り樹林地周辺の約50000m<sup>2</sup>の緑地の保全に結実した。

「トロのふるさと基金」委員長 荻野さんの説明を聞きながら今更ながら市民運動の大切さを思った。そんな後で見た新しい処分場候補地の谷戸の緑がどんなにか美しく目に映ったことか。これは潰してはならない。当日の参加者全員の感想であった。

9月9日(土)、新河岸川流域川づくり連絡会の見学会は、狭山丘陵をテーマとして、今までにない25人の参加者をもって行われた。

狭山丘陵の両極の姿を見る事が出来たのはたいへん有意義な見学会であったと思う。(小黒 記)

## 流域情報

### 出前講座 活動紹介 7月9日(日)

狭山市中央公民館で、さやま環境市民ネットワーク 川分科会主催の「環境講座」で会員の丸橋さんが、会の活動について今までの会での取り組みを発表した。「よくそこまでやった」と高い評価を得た。

### ホテル観察会 7月10日(月)

今年も去年とほぼ同じ不老川源流付近を3ヵ所ほど見て回った。ホテルの数が増えてきたということは、水がきれいになってきたということの証しではないだろうか?

### さやま環境ウォーク2006 9月3日(日)

さやま環境市民ネットワーク主催「入間川を楽しもう」- ふるさとの川再発見 - 本富士見橋から笹井堰6km往復した。残暑が厳しい中、約150名参加があった。思ったより景観も良く、水草も生えていた。漁協の人が、昔の入間川でのアユ捕りの漁法を再現してくれ、一日、川を楽しんだ。

## 川づくりに参加しませんか

定例会：毎月第3土曜日13:30～  
 年会費：1,000円 詳細は下記世話人まで  
 入間市：相馬04-2965-1741  
 狭山市：丸橋04-2959-3831  
 所沢市：高松04-2948-5815  
 川越市：高木0492-49-9828

## 秋の不老川を歩きませんか

10月5日(木)

4月に歩いた川辺を今回も関口平一さんの案内で秋の草花を観察しながら歩きましょう

コース→狭山市入間公民館→としとらず公園→山王塚→入間公民館

集合	狭山市入間公民館	9:30
解散	狭山市入間公民館	お昼頃
問い合わせ	米倉	☎2958-7031

## 荒川クリーンエイブ 2006

10月29日(日)

### 不老川歩きと芋ほり

入間公民館から新入曽橋までゴミを拾いながら歩きます。分別をしてから、芋ほり、豚汁、ふかしいもの昼食です。

集合 狭山市入間公民館 9:00～13:00頃  
 参加費 500円(芋ほり、豚汁、ふかし芋)  
 持ち物 飲み物 軍手 はし お椀 いもを入れる袋

問い合わせ 丸橋TEL2959-3831